

「核兵器のない世界」と「原発のない日本」をめざして

非核の政府を求める京都の会 結成 25 周年記念のつどい



本会 25 年の歩みは、平和カルタや平和カレンダーをはじめ、最近の意見ポスターにいたるまで、多彩な企画を通じて非核・平和の想いを発信する取り組みの連続でした。これらの取り組みを持続することができたのは、ひとえに本会賛同者のご尽力に加え、広範な市民のみなさまのご支援のたまものと感謝しております。

そこで、本会 25 周年のつどいを広く公開し、想いを同じくするみなさまとの交流と交歓の場にいたしたいと企画いたしました。

どうぞお気軽にお越しくださいますようお願いいたします。



4 月 21 日(土) 16:00~17:45

会場:教育文化センター・103 号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町 4-13 TEL:075-771-4221

記念講演



沢田昭二さん

(名古屋大学名誉教授、日本原水協代表理事)

「核不拡散条約体制から核兵器禁止条約体制へ —広島・長崎と福島の実験から考える—

ミニ講演



山下正寿さん

(元高校教師、高知県太平洋核実験被災支援センター事務局長)

「ビキニ事件・福島原発被災と教育」

※参加費(つどい資料代) : 500 円



事故後の東京電力福島第一原子力発電所



広島・原爆死没者慰霊碑と原爆ドーム



ブラボー・ショット

南太平洋ビキニ環礁における米水爆実験

<講演のポイント>

なぜ核兵器禁止条約が、非核平和運動の世界共通の目標になってきたのでしょうか。沢田講演は、このことを明快に解明してくれます。またビキニ事件の隠された真相を、白日のもとに明らかにした山下さんの苦闘の成果は、実は高校生ゼミナールの一環としてもたらされたものです。いわば「教育活動」として語られる「ビキニ真相解明の真実」が、山下講演のポイントです。

※当日 15 時~16 時前まで同会場では非核の会定期総会を開催します(無料)。また、「つどい」終了後 18 時から「記念懇親会」を開催します(5,000 円)。これらにもご参加ください。

連絡先:非核の政府を求める京都の会 電話/Fax:075-771-0729 メール:hikaku-kyoto@nifty.com

主催:非核の政府を求める京都の会